

2016 年度

エコアクション 21 環境活動レポート

(レポート対象期間：2016 年 4 月 ～ 2017 年 3 月)



 **プライムデリカ株式会社**

2017 年 8 月 31 日発行

2018 年 2 月 27 日改訂

目次

1.	環境方針	2
2.	会社概要	3
3.	環境目標とその実績	8
4.	環境活動計画の取組	19
5.	環境法規遵守状況	20
6.	代表者による全体評価と見直し結果	22

1. 環境方針

プライムデリカ環境方針

【基本方針】

プライムデリカは、「私達は、お客様に信頼される誠実な企業でありたい」という基本理念のもとに事業展開しています。

食品企業である私たちは、製品原材料の多くを大地と自然の恩恵から享受しており、その豊かな自然環境を次世代へ継承する責任があります。

地球環境保全は経営の最重要課題のひとつであると認識し、持続可能な社会の実現に向け、以下の行動指針に基づき、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営を推進します。

【行動指針】

1. 環境負荷の低減

・事業活動において、省エネルギー・省資源化・食品残渣の発生抑制及びその他廃棄物の削減等、環境負荷の低減に努めます。さらに、太陽光発電等の自然エネルギーの利用に積極的に取り組みます。

2. 循環型社会の形成

・事業活動において、水・熱の再利用化、食品残渣及びその他廃棄物のリサイクルに努め、循環型社会の形成に貢献します。

3. 環境への配慮

・環境に配慮した機械設備、備品等の購入を推進します。

4. 法規制順守

・環境関連法規制等の要求事項を順守するとともに、環境リスクの未然防止に努めます。

5. 地域との共生

・環境保全活動に積極的に参加し、地域社会への貢献とコミュニケーションを図ります。

6. 社外公表・周知

・環境情報を広く適切に開示し、全従業員に対し周知徹底するとともに、社外にも公開します。

プライムデリカ株式会社

代表取締役社長

齊藤 正義

制定日 2014年 11月 29日

最終改定 2015年 5月 5日

2. 会社概要

■事業所名及び代表者氏名

プライムデリカ株式会社
代表取締役 齊藤 正義

■所在地

認証登録範囲	所在地	
本社・相模原第一工場	〒252-0328	神奈川県相模原市南区麻溝台一丁目7番1号
龍ヶ崎工場	〒301-0852	茨城県龍ヶ崎市向陽台五丁目6番3号
豊田第一工場	〒470-0334	愛知県豊田市花本町井前1番地23号
豊田第二工場	〒470-0361	愛知県豊田市猿投町野入44番地53号
2017年度認証拡大範囲	所在地	
枚方工場	〒573-0101	大阪府枚方市長尾峠町15番地1号
宝塚工場	〒665-0051	兵庫県宝塚市高司四丁目6番40号
新居浜工場	〒792-0852	愛媛県新居浜市東田二丁目乙1番2号
宗像工場	〒811-3201	福岡県福津市八並268番地1号
佐賀工場	〒849-0902	佐賀県佐賀市久保泉町大字上1580番地22号
宮崎工場	〒880-0303	宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂11375番地12号
2018年度認証拡大範囲	所在地	
相模原第二工場	〒243-0034	神奈川県相模原市南区当麻2575番1

■創業

1986年10月1日

■資本金

1億円

■売上高(2017年3月期)

84,456百万円

■事業規模(2017年3月期)

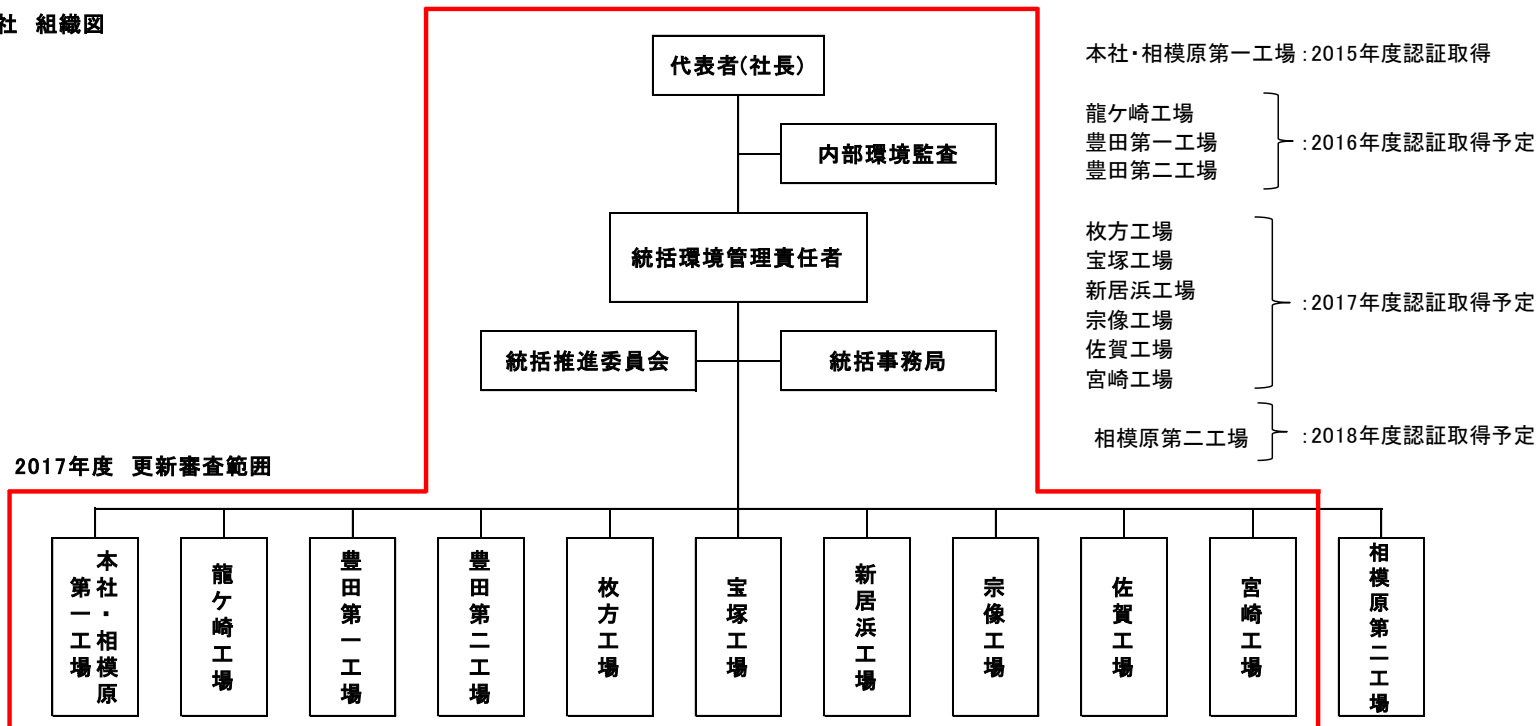
事業所	売上高(百万円)	従業員数(名)	延べ床面積 (㎡)
本社・相模原第一工場	10,864	992名(うち社員数43名)	8,016.46
龍ヶ崎工場	8,489	565名(うち社員数38名)	17,997.06
豊田第一工場	8,350	574名(うち社員数42名)	12,682.31
豊田第二工場	8,520	406名(うち社員数42名)	31,314.00
枚方工場	8,381	668名(うち社員数42名)	5,841.37
宝塚工場	10,096	618名(うち社員数41名)	8,067.81
新居浜工場	3,589	256名(うち社員数45名)	11,067.76
宗像工場	8,171	439名(うち社員数40名)	7,518.02
佐賀工場	8,905	484名(うち社員数44名)	8,960.22
宮崎工場	3,868	337名(うち社員数38名)	6,037.27

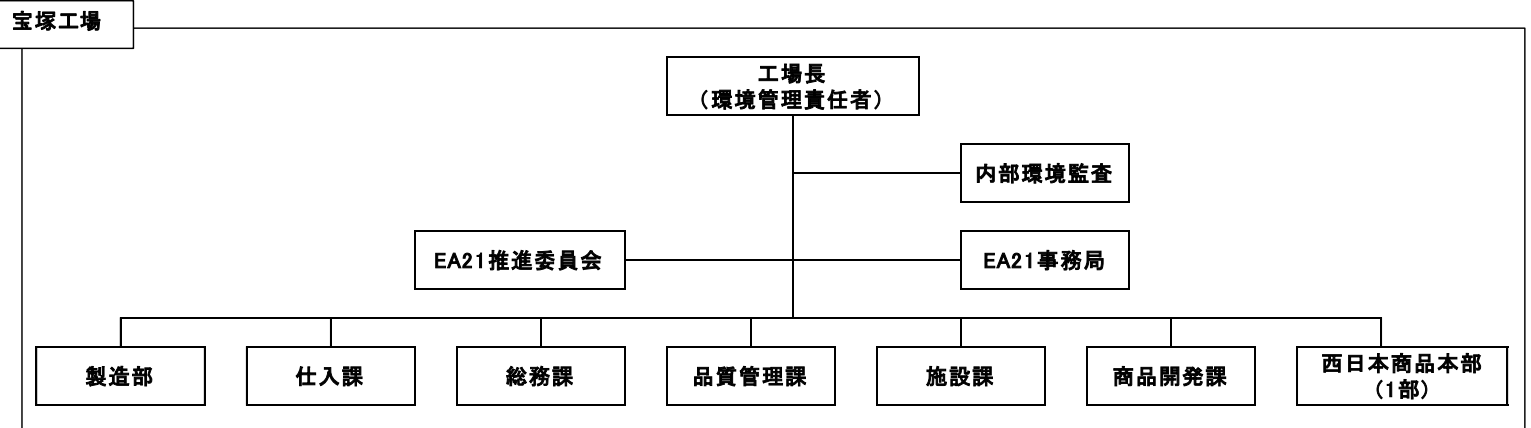
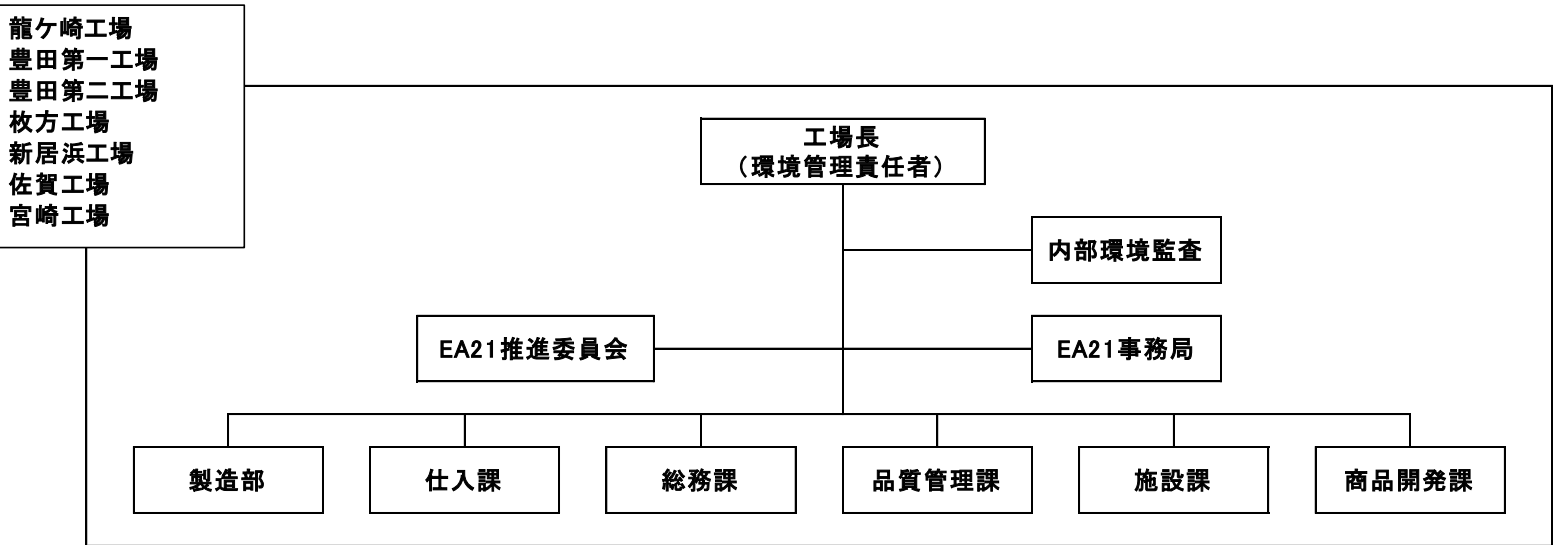
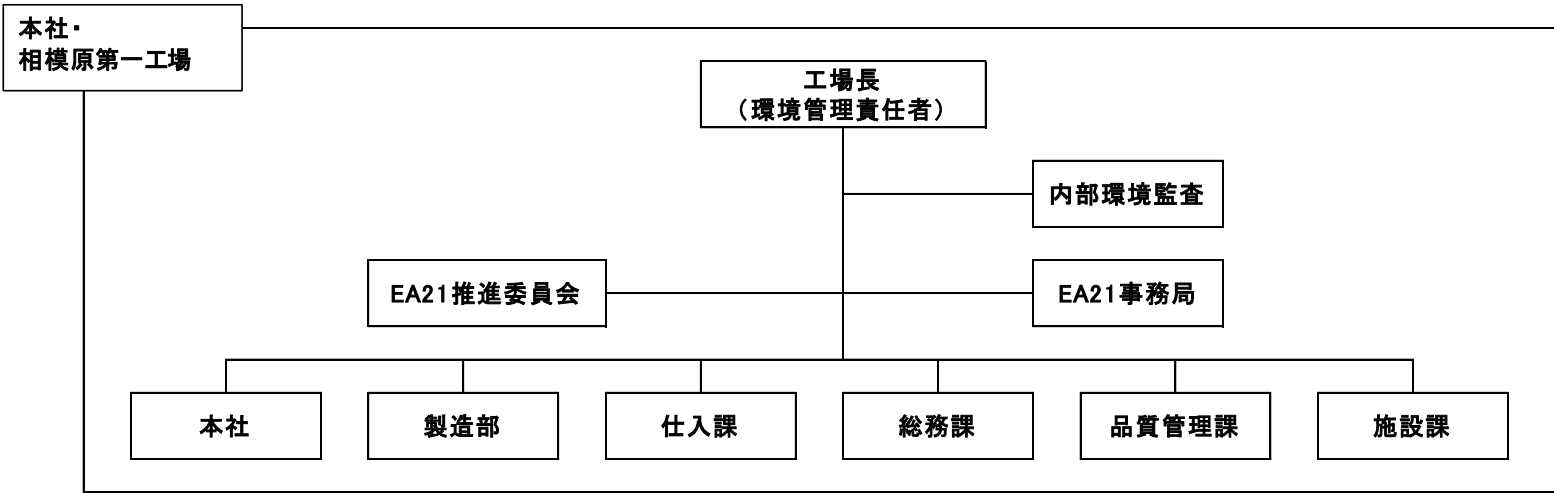
■事業内容

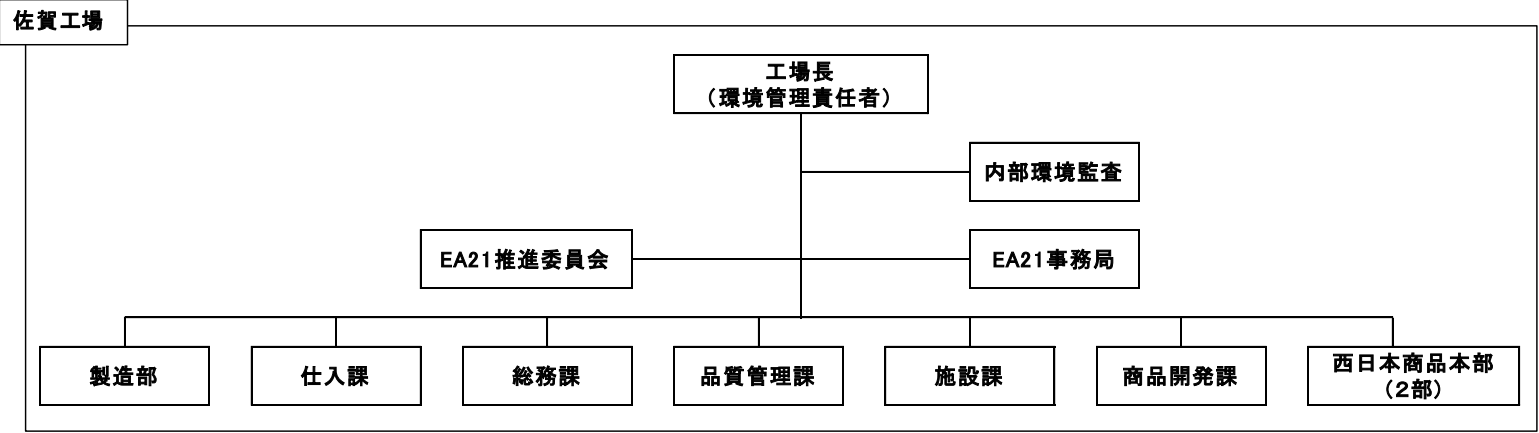
コンビニエンスストア向けの軽食・総菜・デザート・調理パンの製造及び関連新商品の開発。

■環境活動の実施体制

全社 組織図







■役割責任

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ol style="list-style-type: none"> 環境方針の策定。 統括環境管理責任者の任命、環境保全活動の取り組みに関する責任及び権限の付与。 内部環境監査の任命。 環境マネジメントシステムの実施に必要な資源（人材、資金、技術、インフラストラクチャー等）の提供。 代表者による全体の見直しと評価を行う。
統括環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> エコアクション21の要求事項に適合した環境マネジメントシステムを確立、実施、維持、管理。 EA21統轄事務局を任命、事務局責任者として運営。 環境推進委員会を主催する。 環境関連文書の審査・承認をする。 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守の徹底。 環境マネジメントシステムの運営状況及び実績に関して、社長に報告。
統括推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの運用状況の進捗を確認する。 環境推進委員会は、統轄環境管理責任者を委員長する。 構成員を環境管理責任者と統轄事務局とする。
統轄事務局	<ol style="list-style-type: none"> 統轄環境管理責任者の補佐、及び全社の実行業務の支援を行う。 環境マネジメントマニュアル及び環境活動レポート、全社共通の規程、全社環境目標、その他文書を作成する。 全社環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守評価を実施。 環境関連文書及び記録の整備及び保管。

工場長（環境管理責任者）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所の環境管理責任者として統括する。 2. EA21 推進委員会の委員長を兼務する。 3. EA21 事務局、EA21 推進委員を任命する。 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する。 5. EA21 事務局の責任者として事務局運営。 6. 事業所の環境関連文書の承認をする
EA21 推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所の環境マネジメントシステムの運用状況の進捗確認。 2. 委員長を工場長（環境管理責任者）とする。 3. 構成員を部門責任者と事務局とする。 4. 開催日 3 か月に 1 回、開催する。 5. 環境活動計画実施状況の評価（四半期ごとに評価を行い、事務局が環境活動計画に記載する） 6. 事務局が議事録作成する。
EA21 事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局。 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成。 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成。 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 6. 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、記録の作成 7. 工場の環境関連文書及び記録の整備、保管。
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21 推進委員とする。 2. 自部門における環境方針の周知、従業員に対する教育、訓練の実施。 3. 自部門に関連する環境活動計画の作成及び実施、達成状況を報告。 4. 特定された自部門の緊急事態の手順書作成及びテスト、訓練を実施。 5. 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 6. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
内部環境監査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境マネジメントシステムが適切に実施され、維持されているかを検証するため、内部環境監査を実施する。 2. 内部監査報告書を作成し、社長及び環境管理責任者に報告する。
従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。

■環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

統括環境管理責任者
担当者

取締役生産本部長兼生産技術部部长兼環境部長
生産技術部課長
環境部主任

加藤 幸作
菊地 浩
片田 康介

TEL : 042-702-0011

FAX : 042-702-2611

URL : <http://www.primedelica.com/index.html>

3. 環境目標とその実績、次年度の取り組み

当社は全国 11 か所に拠点を設け、毎日 24 時間生産活動を続けています。2016 年度は認証登録範囲である本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場、豊田第一工場、豊田第二工場の 4 工場と、適用拡大範囲である枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場の 6 工場でエコアクション 21 の活動に取組みました。

■認証登録範囲 本社・相模原第一工場・龍ヶ崎工場・豊田第一工場・豊田第二工場

活動期間 : 2016 年 4 月 ~ 2017 年 3 月

本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場、豊田第一工場、豊田第二工場の 4 工場は 2015 年度のデータを基準として目標を設定し、エコアクション 21 の活動に 1 年間取組みました。

■適用拡大範囲 枚方工場・宝塚工場・新居浜工場・宗像工場・佐賀工場・宮崎工場

活動期間 : 2016 年 12 月 ~ 2017 年 2 月 (宮崎工場は活動期間、2017 年 1 月 ~ 2017 年 3 月)

枚方工場・宝塚工場・新居浜工場・宗像工場・佐賀工場・宮崎工場の 6 工場では、エコアクション 21 の適用拡大のため、昨年度 3 カ月間の実績を基準として目標を設定し、エコアクション 21 の活動に 3 カ月間取組みました。

※電力の排出係数について

環境目標を設定するに当たり、購入電力の CO2 排出係数は下記の数値を使用しました。

本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場	東京電力(株) 実排出係数(2014 年度) : 0.505 (kg-CO2/kWh)
豊田第一工場、豊田第二工場	中部電力(株) 実排出係数(2014 年度) : 0.497 (kg-CO2/kWh)
枚方工場、宝塚工場	関西電力(株) 実排出係数(2015 年度) : 0.521 (kg-CO2/kWh)
新居浜工場	四国電力(株) 実排出係数(2014 年度) : 0.676 (kg-CO2/kWh)
宗像、佐賀、宮崎工場	九州電力(株) 実排出係数(2015 年度) : 0.509 (kg-CO2/kWh)

※自然エネルギーの利用について

環境方針に記載した自然エネルギーの利用として、太陽光発電を相模原第二工場、龍ヶ崎工場、豊田第二工場、新居浜工場および宮崎工場にて取り入れております。

※原単位について

当社では原単位を算出するにあたり、生産量(千 pk)を使用しています。

■ 認証登録範囲 本社・相模原第一工場

(1) 環境目標 (2016 年度目標と中期目標) とその実績

活動項目		基準 2015 年度	目標 2016 年度	実績 2016 年度	評価	目標 2017 年度	目標 2018 年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	7,853.3	—	8,615.3	+762.0	—	—
	CO2 の削減 (t-CO2/千 pk)	113.12	111.99	119.51	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千 pk)	108.48	107.39	114.65	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千 pk)	27.21	26.94	29.06	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の 削減 (g/千 pk)	36.98	36.62	39.71	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル 率の維持向上 (%)	99.20	99.20	86.53	×	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出 量の削減 (g/千 pk)	13.53	13.40	8.13	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千 pk)	4.13	4.09	4.65	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	9 点	9 点	10 点	○	年 1 点以上拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	改善活動 10 件	活動の 推進	活動の 推進	○	改善活動の推進	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	12 件	12 件	17 件	○	年 12 件以上	

(2) 次年度の取り組み

加熱蒸気オーブンの設置及び稼働により電気やガスの使用量が増加している。高効率な LED 照明への切り替え、設備の更新時に高効率の設備を導入することで、エネルギーの使用量を削減させる。また見込み生産の精度を向上させ、廃棄量を削減させる。

■ 認証登録範囲 龍ヶ崎工場

(1) 環境目標（2016年度目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015年度	目標 2016年度	実績 2016年度	評価	目標 2017年度	目標 2018年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	4589.3	—	4567.2	-22.1	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	80.03	79.23	81.42	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	60.72	60.12	65.74	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千pk)	23.41	23.18	22.87	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	30.99	30.68	22.63	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	89.0	89.0	86.8	×	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	8.90	8.81	8.91	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千pk)	4.13	4.09	4.65	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	1点拡大	1点拡大	1点拡大	○	年1点以上拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	活動の 推進	活動の 推進	活動の 推進	○	改善活動の推進	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	1件	4件	4件	○	年4件以上	

(2) 次年度の取り組み

生産数量の減少が原因で原単位の悪化し、目標が達成できなかった。BEMSを活用しエネルギー使用量を削減する。また、食品廃棄物の分別を徹底し、リサイクル率を向上させる。

■ 認証登録範囲 豊田第一工場

(1) 環境目標 (2016 年度目標と中期目標) とその実績

活動項目		基準 2015 年度	目標 2016 年度	実績 2016 年度	評価	目標 2017 年度	目標 2018 年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	5626.9	—	6366.8	+739.9	—	—
	CO2 の削減 (t-CO2/千 pk)	144.19	142.75	147.59	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千 pk)	195.89	193.94	189.93	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千 pk)	22.08	21.86	25.23	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の 削減 (g/千 pk)	56.37	55.81	50.45	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル 率の維持向上 (%)	100	100	100	○	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出 量の削減 (g/千 pk)	12.55	12.42	10.69	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千 pk)	5.71	5.65	5.03	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	1 点拡大	1 点拡大	1 点拡大	○	1 点拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	活動の 推進	活動の 推進	活動の 推進	○	改善活動の推進	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	2 件	2 件	3 件	○	年 3 件以上	

(2) 次年度の取り組み

新たな商品の製造ラインが稼働でボイラーの稼働率が増加し、目標が達成できなかった。前年度の取り組みを継続、またる。生産機器の適正な運用等を実施により化石燃料の使用量を削減する。

■ 認証登録範囲 豊田第二工場

(1) 環境目標 (2016 年度目標と中期目標) とその実績

活動項目		基準 2015 年度	目標 2016 年度	実績 2016 年度	評価	目標 2017 年度	目標 2018 年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	4687.9	—	4740.0	+52.1	—	—
	CO2 の削減 (t-CO2/千 pk)	79.46	78.66	77.34	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千 pk)	117.38	116.21	113.44	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千 pk)	10.02	9.92	9.94	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の 削減 (g/千 pk)	26.29	26.03	23.12	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル 率の維持向上 (%)	100	100	100	○	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出 量の削減 (g/千 pk)	11.28	11.16	13.46	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千 pk)	1.45	1.44	1.50	×	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	1 点拡大	1 点拡大	1 点拡大	○	1 点拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	活動の 推進	活動の 推進	活動の 推進	○	改善活動の推進	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	4 件	4 件	4 件	○	年 4 件以上	

(2) 次年度の取り組み

食品残さが付着した汚れ廃プラが増えているため、その他産業廃棄物が増加している。廃棄物の分別に関して従業員へ注意喚起等を行い、廃プラとして持って行かれる廃棄物の重量を減らす。

■認証拡大範囲 枚方工場

(1)環境目標（運用期間目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015年度	目標 2016年度	実績 2016年度	評価	目標 2017年度	目標 2018年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	1056.4	—	1049.8	-6.6	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	105.32	104.27	92.21	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	130.55	129.24	114.88	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千pk)	17.76	17.58	15.70	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	41.65	41.23	20.95	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	19.47	19.28	17.81	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千pk)	3.88	3.84	3.38	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
購入	グリーン購入の推進 (点)	—	実績把握	○点		年1点以上拡大	
活動	環境改善活動の実施 (件)	—	改善活動 1件	改善活動 3件	○	改善活動1件以上	
活動	地域貢献活動の実施 (件)	—	4件	4件	○	年16件以上	

(2)次年度の取り組み

空調の更新時に省エネ機器へ導入切り替える。また扉の開けっ放しを防止する取組等を実施し、空調に係るエネルギー使用量を削減させる。また見込み生産の精度を向上させ、廃棄量を削減させる。

■ 認証拡大範囲 宝塚工場

(1) 環境目標（運用期間 目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015 年度	目標 2016 年度	実績 2016 年度	評価	目標 2017 年度	目標 2018 年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	1436.7	—	1275.4	-161.3	—	—
	CO2 の削減 (t-CO2/千 pk)	256.90	254.34	231.43	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千 pk)	274.93	272.18	268.31	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千 pk)	23.14	22.90	19.21	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千 pk)	37.80	37.47	34.50	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	リサイクル率の維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千 pk)	10.90	10.79	9.08	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千 pk)	4.57	4.53	3.58	○	2016 年度 △1%	2017 年度 △1%
購入	グリーン購入の推進 (点)	—	1 点以上 購入	13 点	○	年 1 点以上拡大	
環境改善活動	環境改善活動の実施 (件)	—	改善活動 の実施	改善活動 1 件	○	改善活動の実施	
地域貢献活動	地域貢献活動の実施 (件)	—	清掃活動 協賛活動	3 件	○	清掃活動の実施	

(2) 次年度の取り組み

稼働率の低い生産機器の停止を徹底し待機電力の削減、ウォーミングアップ時間見直しをする。またスチームトラップの点検を実施し、エネルギー使用量を削減させる。

■認証拡大範囲 新居浜工場

(1)環境目標（運用期間 目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015年度	目標 2016年度	実績 2016年度	評価	目標 2017年度	目標 2018年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	1287.5	—	1275.4	-12.1	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	103.40	99.21	92.39	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	115.60	114.44	109.93	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千pk)	15.90	15.74	13.85	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	28.70	28.42	29.67	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	100	100	100	○	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	5.89	5.78	3.21	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千pk)	3.24	3.21	3.03	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	—	実績把握	13点	○	年1点以上拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	—	改善活動 の実施	改善活動 5件	○	改善活動の実施	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	—	清掃活動 の実施	3件	○	清掃活動・協賛活動 の実施	

(2)次年度の取り組み

前年度の取り組みを継続する。室温の管理、こまめな消灯を徹底する。また過剰に廃棄している原材料を特定し対策を講じて廃棄を減らす。

■認証拡大範囲 宗像工場

(1)環境目標（運用期間 目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015年度	目標 2016年度	実績 2016年度	評価	目標 2017年度	目標 2018年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	904.2	—	918.6	+14.4	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	84.54	81.47	80.48	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	94.83	93.88	92.54	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千pk)	14.32	14.17	14.09	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	30.30	30.02	31.32	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	74.92	74.92	67.2	×	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	23.04	22.81	21.64	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千pk)	2.62	2.60	2.51	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	—	実績把握	実績把握	○	年1点以上拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	—	廃棄量の 改善活動	廃棄量の 把握	○	廃棄量の改善活動	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	—	協賛活動 3件	協賛活動 3件	○	協賛活動 3件	

(2)次年度の取り組み

電気やガス、水等の使用量を日々確認し、使用量が多い日があれば原因の特定、対策を講じる。また食品廃棄物のリサイクル率を向上させるため、処分業者の切り替えを検討する。

■認証拡大範囲 佐賀工場

(1)環境目標（運用期間 目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015年度	目標 2016年度	実績 2016年度	評価	目標 2017年度	目標 2018年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	1358.7	—	1386.5	+27.8	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	78.85	78.06	82.01	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	91.55	90.63	94.28	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千pk)	14.95	14.81	14.96	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	15.30	15.19	15.27	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	70.02	70.02	73.2	○	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	11.58	11.46	11.91	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千pk)	1.74	1.72	1.77	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
購入	グリーン購入の推進 (点)	—	実績把握	実績把握	○	年1点以上拡大	
活動	環境改善活動の実施 (件)	—	実績把握	実績把握	○	廃棄量の改善活動	
活動	地域貢献活動の実施 (件)	—	実績把握	実績把握	○	協賛活動 3件	

(2)次年度の取り組み

ドアの開けっ放しや電気のつけっぱなし、水の出しっぱなしを減らしなどの無駄な使用量が多く目標を達成することができなかった。次年度はエネルギーの無駄遣いを減らし、また作業のタイムテーブルに無駄がないか等を検証し、生産効率を高める。

■認証拡大範囲 宮崎工場

(1)環境目標（運用期間 目標と中期目標）とその実績

活動項目		基準 2015年度	目標 2016年度	実績 2016年度	評価	目標 2017年度	目標 2018年度
二酸化炭素	総排出量 (t-CO2)	734.1	—	786.7	+51.6	—	—
	CO2の削減 (t-CO2/千pk)	135.52	134.17	131.45	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	電気使用量の削減 (kWh/千pk)	159.03	157.44	154.35	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	化石燃料使用量の削減 (m ³ /千pk)	17.17	17.00	17.62	×	2016年度 △1%	2017年度 △1%
産業廃棄物	食品廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	9.8	9.74	8.76	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
	食品廃棄物リサイクル率の維持向上 (%)	96.66	96.66	100	○	リサイクル率の 維持向上	
	その他産業廃棄物排出量の削減 (g/千pk)	30.73	30.42	29.86	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
水資源	水使用量の削減 (m ³ /千pk)	3.44	3.41	3.41	○	2016年度 △1%	2017年度 △1%
購入 グリーン	グリーン購入の推進 (点)	—	実績把握	実績把握	○	年1点以上拡大	
活動 環境改善	環境改善活動の実施 (件)	—	実績把握	実績把握	○	廃棄量の改善活動	
活動 地域貢献	地域貢献活動の実施 (件)	—	実績把握	実績把握	○	年3件以上	

(2)次年度の取り組み

前年度の取り組みを継続する。電気やガス、水などの日々の使用量をこまめに確認し掲示を行う。増加時には朝礼を通じて従業員に注意喚起をする。また見込み生産の精度を向上、商品の作り直しを減らすことで、廃棄を抑制する。

4. 環境活動計画の取組

エコアクション21の認証取得した本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場・豊田第一工場、豊田第二工場、及び適用拡大中の枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場で環境活動に取り組みました。各工場では本来業務の改善活動を継続的に実施しており、本業を通じての改善に努めてまいります。

二酸化炭素排出量の削減 (電気及び化石燃料の使用量の削減)	水使用量の削減
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然エネルギー(太陽光発電)の活用 ・ 社有車(低公害車)の活用 ・ 空調の温度管理の徹底、照明等消灯の徹底 ・ 使用後の機械の電源オフ ・ BEMSによる電気使用状況の監視、制御の実施 ・ 生産効率の向上によるエネルギー使用量の削減 ・ 蒸気漏れ箇所の点検・補修 ・ スチームトラップの点検・補修 ・ 配管の保温を強化 ・ 生産機械のウォームアップ時間の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水漏れ箇所の点検・補修 ・ 節水こまの設置 ・ 清掃方法の見直し
食品廃棄物排出量の削減	グリーン購入
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不良品の低減による廃棄の削減 ・ 原材料の歩留り向上 ・ 期限切れ廃棄の削減 ・ 歩留りが良い野菜の仕入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン購入実施状況の確認 ・ 事務用品のグリーン購入の推進 ・ 社有車(低公害車)の活用
その他産業廃棄物排出量の削減	環境改善活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物と一般廃棄物の分別 ・ 廃棄物を有価物への切り替え ・ トッピング、包装不良の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善活動の実施 異物混入の防止活動による製品廃棄の低減 商品の品質向上活動による製品廃棄の低減 見込み生産数量の精度向上による製品廃棄の低減
食品廃棄物リサイクル率の維持向上	地域貢献活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品廃棄物とその他の廃棄物を分別 ・ 委託先の運搬業者、処分業者の現地確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のニーズの調査 ・ 工場周辺の清掃活動 ・ 地域への協賛活動

5. 環境法規遵守状況

■環境法規遵守状況

(1) 認証登録範囲 本社・相模原第一工場、龍ヶ崎工場・豊田第一工場・豊田第二工場

認証登録範囲の各工場で環境関連法規について遵守状況の確認を行った結果、違反はありませんでした。過去3年間にわたって関係機関等からの指導指摘、地域住民の苦情、訴訟もありませんでした。

(2) 適用拡大範囲 枚方工場、宝塚工場、新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場

適用拡大範囲である枚方工場、宝塚工場新居浜工場、宗像工場、佐賀工場、宮崎工場の6工場で環境関連法規について遵守状況の確認を行った結果、違反はありませんでした。また運用期間中、関係機関等からの指導指摘、地域住民の苦情、訴訟もありませんでした。

(3) 主要な法規制一覧

○：順守 -：該当せず

環境法規	工場名									
	相一	龍ヶ崎	豊一	豊二	枚方	宝塚	新居浜	宗像	佐賀	宮崎
大気汚染防止法	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-
省エネ法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フロン排出抑制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水質汚濁防止法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道法	○	○	○	-	○	○	○	-	○	-
浄化槽法	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○
騒音規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
振動規制法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
廃掃法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
食品リサイクル法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
消防法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工場立地法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境関連 県条例 (※)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
環境関連 市条例 (※)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※県および市条例について

各工場が所在する地域は下記のとおりです。それぞれの地域で定められた環境保全や公害防止、地球温暖化、廃棄物関連等の環境関連条例も適切に順守しております。

事業所	所在地(県)	所在地(市)
本社・相模原第一工場	神奈川県	相模原市
龍ヶ崎工場	茨城県	龍ヶ崎市
豊田第一工場、豊田第二工場	愛知県	豊田市

枚方工場	大阪府	枚方市
宝塚工場	兵庫県	宝塚市
新居浜工場	愛媛県	新居浜市
宗像工場	福岡県	福津市
佐賀工場	佐賀県	佐賀市
宮崎工場	宮崎県	宮崎市

■食品リサイクル法の取組

(1)再生利用等の実施率

食品リサイクル法に基づく定期報告書を事業者単位でまとめて報告しております。基準実施率 100%に対し、2016年度の再生利用等の実施率は全社で 93.1%でした。個別目標である基準実施率は達成できませんでしたが、業種別の目標である食品製造業 85%は達成しました。

2016 年度 食品リサイクルの実績	
発生量 (t)	15,004.6
発生抑制量 (t)	533.2
再生利用量 (t)	9,928.7
熱回収量 (t)	0
減量量 (t)	4,010.5
再生利用等以外の量 (t)	0
廃棄物としての処分量 (t)	1,065.4
再生利用等の実施率 (%)	93.1

(2)産業廃棄物処分業者の現地確認

当社は廃棄物管理を廃棄物の専門家にコンサルしていただいています。工場から排出された食品廃棄物が適切にリサイクルされているかを確認するため、コンサルタントとともに廃棄物処理委託業者の現地確認を行い、食品廃棄物等が適正に処理されていることを確認しました。

(3)脱水機による野菜くずの減量

当社は工場から排出される野菜くずなどの植物性残渣を圧縮・脱水する施設を全国3カ所に設置し、植物性残渣の減容を行っております。関東・東海・関西にある工場の周辺に脱水施設を設置し、植物性残渣を脱水することで排出量を 85~90%削減しております。野菜を多く使用する工場では1日に5t以上の植物性残渣が排出されるため、減容し排出量を減らすことで環境への影響を最小限にしております。また脱水処理した植物性残渣は堆肥化しております。

この取り組みは環境に良い優秀な事例として神奈川県に選ばれ、神奈川県が主催する「廃棄物自主管理事業説明会」で、当社の発表する機会をいただいております。

6. 代表者による全体評価と見直し結果

当社は2014年12月よりエコアクション21の取り組みを始めました。本社・相模原第一工場での認証取得より始まり、2015年度は龍ヶ崎工場・豊田第一工場・豊田第二工場の3工場、2016年度は枚方工場・宝塚工場・新居浜工場・宗像工場・佐賀工場・宮崎工場の6工場で取り組みを開始しました。2017年度は相模原第二工場で取組をスタートさせ、全社でエコアクション21の認証を取得し環境活動を推進します。

2016年度は、通年活動した4工場と運用期間の3カ月間活動した6工場の活動結果となりました。目標の達成状況を精査すると、目標を達成できた工場と目標未達成となった工場が出てきています。各工場での改善活動を継続するとともに、目標を達成できた工場の取り組みを目標未達成の工場に水平展開する等、事務局は全工場をサポートし全社で目標を達成できる仕組み作りを進めます。